

日本物理学会領域 2 運営会議 議事録

日時: 2016 年 9 月 14 日 (水) 12:15-13:00

場所: 金沢大学 KA 会場

司会: 領域 2 代表 上杉喜彦

書記: 領域 2 役員 高橋和貴

出席者: 約 30 名

報告事項

1. 2016 年 10 月からの新役員体制と役割分担の確認

上杉代表より, 新役員体制と役割分担に関して確認があった.

大島慎介氏(京大), 西浦正樹氏(東大), 蔵満康弘氏(国立中央大学@台湾) が新役員.

次期代表は政宗貞男氏 (京都工繊大)

次期副代表は洲鎌英雄氏 (核融合研)

2. 学生優秀発表賞に関する報告

➤ 2016 年年次大会では、応募総数 19 件、内 4 件を選出

➤ 2016 年秋季大会は、21 件の申し込み. 16 日 13 時から審査.

3. 若手奨励賞 (第 11 回 (2017 年)) の案内

2 名の応募, 選考委員 6 名, 委員長は斉藤輝雄氏.

領域 2 から下記の 2 名を推薦するという事で承諾を得た.

小林達哉(核融合研): 核融合プラズマに於ける L-H 遷移の物理機構の実験研究

Wang Hao (核融合研): 高エネルギー粒子駆動測地的音響モードのシミュレーション研究

第 72 回年次大会にて受賞記念招待講演 @大阪大学

4. 2017 年年次大会 招待・企画 (シンポジウム) 講演審議

下記の招待講演・シンポジウムに関して領域 2 から推薦することの承諾を得た. また、「高エネルギー密度科学」を新規の企画セッションとして採択した.

➤ 招待講演提案

井戸毅 (核融合研) 『磁場閉じ込めプラズマにおける亜臨界不安定性(仮)』

提案者 藤澤彰英(九大) より説明があった.

➤ シンポジウム提案

① 藤岡慎介(阪大): 電磁波による超臨界・遮断密度プラズマの加熱 (ビームとの合同シンポジウム)

② 難波慎一(広島大): 高熱流プラズマ・熱プラズマの物理と工学応用への展開

➤ 企画セッションの提案

新規: 児玉了祐(阪大): 高エネルギー密度科学

継続: 藤澤彰英(九大): 非平衡極限プラズマ

(継続課題に関しては, 次回年次大会で再度提案する)

5. 領域委員会の報告

- 別紙資料の通りに、政宗副代表から報告があった。
 - 若手奨励賞の選考委員長は、物理学会会員にするようにとのこと。
 - プログラム編集委員会への出席役員は、各領域から最低1名。
領域2では、原則としてプログラム主担当・副担当の2名が参加する。
 - 学生優秀賞に対する学会サポートに関しては、引き続き学会側で検討する。
 - AAPPS-DPPのメンバー登録に関して報告があった。
領域2をメンバーとして登録する件に関して、領域2というくくりではメンバーが確定していないため、領域2をAAPPS-DPPのメンバーとして登録するのは難しいとの理事会判断があった。
Plasma MLへ登録されているメンバーを登録することを検討。
DPP2017@成都(中国)に関して、物理学会領域2としては、協賛として参画。
6. 日本物理学会論文賞の規定に変更があった。
選考対象論文を発表から10年以内に変更
Proceedings誌創刊に伴い、同誌掲載論文も選考対象論文に加える。
(JPS conference proceedings, JPSJ Supplement)
7. Plasma2017に関する開催案内があった。
主催：応用物理学会（プラズマエレクトロニクス分科会）
幹事：プラズマ・核融合学会、日本物理学会(領域2)、日本学術振興会プラズマ材料科学第153委員会
期間：2017.11.20-11.24
場所：姫路商工会議所
8. AAPPS-DPP活動報告に関して、菊池満氏の資料に基づいて案内があった。
➤ DPP2017@成都(中国)に関して、物理学会領域2(領域2での登録は難しいため、名称変更の必要有)としては、協賛として参画。
9. その他の案内。
➤ 物理学会論文賞は11月頃に申し込み締め切り。JPSJ, PTEPへの投稿を積極的に行ってほしい旨、案内があった。
➤ Plasma MLへの登録呼びかけがあった。
10. 2016年年次大会講演数
➤ 今秋季大会は136件の講演。2016年年次大会@東北学院大は141件。
➤ プラ核学会の講演者数が年々増える傾向(515件)にあり、領域2は減少傾向。
物理学会の参加者がプラ核に移行している。
11. その他の案内。
➤ 懇親会(申し込みは役員会時点で28人)
12. 次回年次大会の大阪では、ホテル不足が予測されるため、早めに予約を取るようアナウンスがあった。
13. 次回申し込みはマイページからの申し込みのみ可能であるため、学生を含めて周知の徹底をするように注意喚起があった。会員登録が必要であるため、早めの対応を。
次回年次大会の申し込みが11月のため、9月に一度メーリングリストで周知を行い、10月にも再度アナウンスの必要有。

以上